

## 建設産業委員会会議録

令和元年8月9日（金）

午後 1時30分 開会

### ○中川健一委員長

ただいまから建設産業委員会を開会いたします。

始めに、協議題1「閉会中の調査事項」についてを行います。

行政視察を終えて、皆さんから視察報告を事前にご提出いただいておりますので、順にそのご意見について、ご説明、ご提言等をお願いいたします。

### ○芳金秀展副委員長

金沢では、建築、不動産、小売りなどの民間で活躍されている方を行政が媒体となりチーム作りを促し、空き家のみならず、重点エリアの開発を任せていることは参考になった。また、生活空間ではないところの景観形成については、その空間に生活感や営みをもってくることも重要なテーマだと思った。

### ○久世孝宏委員

景観を残していくためには、市民の力を活用する。市民を巻き込めるような核

となる人物の育成と発掘が必要。まずは、半田市として景観をどのように残していくのか決める必要があると思いました。

### ○榊原伸行委員

半田市では、JR半田駅前の区画整理が始まるので、それに合わせて駅前から半田運河にかけて景観を活かしたまちづくりができればと思います。そのためには、半田市を愛するスペシャリストグループが必要であり、(JR半田駅周辺から半田運河にかけては、)ミツカングループとさらにコラボし、賑わいが日常化する新しいまちなみ形成をすべきであると思います。

### ○鈴木幸彦委員

町家情報バンクを参考に、亀崎や岩滑地区の景観形成重点地区のまち並みを保存再生する事業の参加者募集を全国に発信し、スポンサーやこだわりを持った変人を探すのはどうでしょうか。

### ○新美保博委員

金沢市の「こまちなみ」を参考に、そこに住む人、その地域に住む人の憩いの場づくりは住人が自らするという意識の醸成が必要ではないかと痛切に感じました。

### ○山田清一委員

景観形成を実施していくには、一定の助成制度は必要で、見直しや新規創設の検討が必要だと思いました。

○大山仁志建設部長

古い価値のある建物を残すことは大切だと全体の視察を通じて感じました。金沢には、歴史や文化を大切に作る意識が根付いており、職人大学なども定着しています。それらを参考に、古い建物の価値を知るための講座を開講するなど有効な手段となるのではないかと思います。

○中川健一委員長

金沢市歴史都市推進課からの話で、文化財は観光に関係なく、本源的に守らなくてはならないとのことでした。新しくすることに税金を使うのではなく、古いものを守ることに税金を使うようなまちづくりを進めているとの説明が印象的でした。

○中川健一委員長

皆さまから様々なご意見、提言を頂きましたが、新たに付け加えることなどありますでしょうか。

【「なし」との声あり】

次に、今後の委員会の進め方について、協議します。

しばらく休憩します。

午後 1時47分 休憩

午後 3時10分 再開

○中川健一委員長

委員会を再開します。

今後の委員会につきましては、資料1にありますように、8月28日（水）までに、委員会報告の素案を作成し、各位にメールします。9月2日（月）または3日（火）の委員会では、委員会報告の内容の議論をしたいと思えます。そのようでもよろしいでしょうか。

【「意義なし」との声あり】

委員会中間報告の内容につきましては、皆さまから頂いた本日のご意見を骨子として3点あげさせていただきます。①景観形成重点地区の市民の皆さんにどの様なまちにしたいのかという意見をきちんと伺うこと、②景観形成重点地区を残すうえで、市民に動いて頂くためには、今より改善されたどの様な施策を打てば良いのかということを考える、③景観を生かしたまちづくりの具体的で現実的なゴールを明示できるようにしたい。ということです。その他は、皆さんから頂いたご意見と提言を基に叩き台を作らせていただきますが、よろしいでしょうか。

【「意義なし」との声あり】

委員会報告に関する事で質問のある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、協議題1「閉会中の調査事項」についてを終わります。

○中川健一委員長

続きまして、協議題2「その他」についてを行います。

県外視察における旅費の精算についての事務連絡をします。半田から名古屋間の交通費とタクシー代を精算いたしましたので、ご確認ください。

他に、何かある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

本日予定いたしました議事は、すべて終了いたしました。

これをもって本日の委員会を閉会いたします。

午後3時13分 閉会